



調布 狛江 保護司会だより

No. 43

発行責任者

調布狛江保護司会

会長 相田常行

撮影：井上喜一保護司 場所：フィリピン セブ島



会長就任のご挨拶

調布・狛江地区保護司会

会長 相田常行

平成も残り僅かとなりました四月十九日に、調布・狛江地区保護司会の定期総会において、会長に選出されました、相田常行でございます。歴代の会長におかれては、見識高く、尊敬する方々ばかりです。引き継ぐにあたり重責を担うことになり、身の引き締まる思いであります。鴨志田守久前会長のご指導を頂きながら、会員の皆様と共に活動してまいる所存でございます。

本年度は、更生保護制度施行七十周年を迎え、一つの節目の年となります。また、“社会を明るくする運動”が今年で第六十九回目となり、地域での更生保護活動として、地域団体、教育機関や民間企業との連携を一層深めることにより、犯罪予防・非行防止活動等を地域とともに協力できればと思います。

再犯防止の重要性が強調される昨今、更生保護への期待はますます高まっています。検挙人員に占める再犯者率は五割に達しています。そこで「再犯防止推進計画」の策定に向け検討を進めていますので、私ども保護司会としても、関係団体との調整などを含め、積極的に協力する所存でございます。

保護司の役割は重要であります。本年度は、三月に開設された調布・狛江地区保護司会サポートセンター準備室に、毎週金曜日、企画調整保護司(理事)が常駐しています。調布・狛江地区については、社会参加活動が活発に行われており、六月には神代農場で竹垣作り、十二月には深大寺で清掃活動、仏具みがき等を行っています。多くの団体(保護司、桐友会、更生保護女性会、BBS等)が参加し、対象者とのコミュニケーションをはかり更生生活動を行っています。“社会を明るくする運動”を始め、地域団体、学校関係と協力を深め、犯罪予防、非行防止活動等を地域の方で少しでも推進出来るように考えております。

調布・狛江地区保護司会一同で更生保護活動に取り組み、頑張っていく所存でございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

主任官挨拶



地区担当官として
保護観察官 竹内 桃代

四月から調布・狛江地区担当となりました。ご縁により共に活動できることに感謝しています。

私が当地区を担当するに当たり、先輩の保護観察官から当地区の熱心な地域活動やチームワーク・機動力の素晴らしさ等を教示され、「よろしく頼むね」と送り出されました。保護観察官からとても大切に思われている地区なのだと感じ、身を引き締まる思いがしました。担当となって、数か月ですが行事や処遇活動を通して、素晴らしさを実感することが多々あります。

神代農場で実施された社会参加活動に親子で参加し、とても楽しく活動させていただきました。先駆的に開拓して発展させてきた活動だけに細やかな配慮が随所に見られました。毎年、梅雨入り間近の時期に実施しているのですが、一度も雨に降られたことがないとのこと。天候も味方しているのでしようか。関係機関や協力団体とともに展開する社会を明るくする運動は、市民運動としてしっかり根付いています。協力雇用主さんとの信頼関係においても日常的に保たれているなど、力強く思うことがばかりです。また、若

手から中堅どころの保護司さんが地区会の役職を始め、事業の中心となつて働いておられ、ベテランの方々が次代を担う保護司を見守っていることが感じられました。

当地区の担当となり、様々な出会いや経験をさせていただいていることに感謝するとともに当職も微力を尽くしていきたいと思っております。

地域別定例研修第Ⅰ期

六月十二日 一五時
狛江市 エコルホール六階

安藤 信明

竹内主任官の指導で、「対象者等の秘密の保持について」を課題として標記研修会が開催されました。

保護司には、保護司法等により、対象者等の秘密を保持する義務があることは明確ですが、保護司の活動は地域における活動が多く、顔見知りが多い環境で、多くの関係者と接する可能性も高い中で、具体的にどの範囲での秘密保持が必要なのかは実際には悩ましい問題です。

また、保護司同士での情報交換や処遇協議をする際に、情報の共有をすることになります。相手が保護司だから何を話してもいいということにはならないでしょう。さらに、インターネット上に出してしまった情報については、

管理できないことになってしまうので、記録媒体にデータを保存する場合には細心の注意が必要になります。

情報の管理と秘密保持については、対象者等との信頼関係を構築する上では必須のもので、保護司としては最低限の義務といえます。

狛江分区分管外研修

九月三日 市原学園

谷田部 一之

保護司十四名で市原学園を視察しました。

市原学園は、昭和六十年四月交通専門の少年院として開設され、現在は、早期改善の可能性が高い少年院を収容する施設となっています。視察日現在収容人員は十五名(定員五十二名)です。



在院期間は平均二十週間で、朝七時に起床二十一時に就寝(希望者は延長学習)と比較的他の少年院より厳し

くないのが特徴です。教育の特色としては、①開放的な環境における教育、②個々の問題性に応じた教育、③被害者の視点を取り入れた教育、④親子ぐるみの教育です。

人の痛みが分かる、あたりまえの感謝の気持ちを持つ少年に育って欲しいという、川俣庶務課長のお言葉に感銘を受けました。参加された保護司の皆様お疲れ様でした。

立川支部管内保護司代表者協議会

広報部 柿澤 正夫

五月二十四日、標記協議会が東京保護観察所立川支部で開催され、調布・狛江地区保護司会からは相田会長ほかの保護司が出席しました。

柴田支部長の挨拶の後、令和元年度東京保護観察所業務重点事項、保護司の現況等について説明がありました。多摩地区の保護司充足率が年々減少傾向にあり、保護司の安定的確保が本年度も大きい課題と言えます。

続いて開催された多摩地区保護司会連絡協議会においては、役員の選任が行われ小山典子氏(町田地区)が会長に選任されたほか、事業計画案、予算案等が案通り可決されました。

このほか本会合では、東京都が実施している『若者α』(非行歴のある若者に対する相談事業)が東京都の担当者から紹介されました。

部長紹介



総務部長
矢幡 秀治

総務部長として二期目を迎えました。今までの二年間は、皆様に支えていただきながら、第七ブロック協議会、顕彰式典、新年会、総会等が無事開催できました。総会ではハブニングもありましたが、皆様の温かい気持ちで乗り越えることができました。ありがとうございました。今期も例年通りにはなりません、粛々と行事を実施していきたいと思っております。保護司会役員としても保護司としてもまだまだ経験は浅いので、皆様のご協力、ご指導をよろしくお願いいたします。



地域活動部長
川又 剛

去る、六月九日に恒例の神代農場社会参加活動が行われました。今にも泣きだしそうな空模様の中、少年三名、調布警察虐待少年八名、白百合大学生十一名を含む総勢一〇二名の参加を頂きました。

部会や様々な事前の打ち合わせが、次々と終了していくなか、当日を迎えることが出来ました。都立農業高校をはじめ、関係各位のご協力により無事

終了することができました。

今後も沢山の皆様のご協力、参加を頂きながら、より良い社会参加活動に発展していけるように、努めたいと思っております。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



研修部長
富永 淑子

研修部長を二年間務めさせていただきます富永淑子です。部員として研修部には長く、副部长もさせて頂きました。至らない事も多く、皆様のご指導を頂きながら頑張りたいと思っております。

研修部の皆様は部会でも活発な発言をしてくださりとても協力的で、私の支えになつてくださいます。年三回の地域別研修を始め、管外研修・自主研修、皆様ができるだけ参加していただける研修を企画してまいります。多くの皆様のご参加を、お待ちしております。



広報部長
柿澤 正夫

広報部長の重責に堪えられるか心許ないところですが、よろしくお願いいたします。

さて、以前から疑問に思っていたこと

があります。個人情報保護との関係で広報誌にはどの程度の情報を開示できるのか。広報誌は更生保護関係者と関係団体に配布されますが、例えば、雇用主の名称を広報誌に掲載した場合、その情報が関係団体から他の人に漏れないかなど検討してみる課題があると思っております。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

桐友会だより

桐友会総会の開催

副会長 高木 光

調布・狛江地区桐友会の今年度の総会が五月二十九日午後二時より、調布総合福祉センター六〇二号室において開催されました。

当日は調布市福祉健康部福祉総務課長松島修様、この度改選されました調布・狛江地区保護司会 会長 相田常行様を始め、担当の市職員、保護司会の役員の皆様をお迎えして盛会裡に開催することができました。

また大先輩の林貞夫さんや先輩の桐友会員の皆さんがお元気なお姿を見せていただき大変ありがたく感じました。今年度も新しく二名の方を迎えることができ、入会予定者も続々といらっしゃるようですので、会員総数も二十名を超える状況で大変うれしいことだと思います。

今年も『健康講座』を予定しており、

多数の皆様のご参加をお待ちしております。また保護司会の行事にも参加させていただき、手を携えて更生保護の活動にも力を貸していきたいものと考えております。

調布・狛江地区保護司会、桐友会の増々の発展と会員の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

更生保護女性会だより

原 喜代子

六月に神代農場社会参加活動に参加。今年初めて雨模様となり心配しましたが皆さんの連携の良さに感動しました。カツカレーと保護司さんから提供された野菜で作った和え物、いつも「美味しい」の言葉と笑顔に支えられ楽しんで作っています。

今後とも皆さんと連携を取りながら地域に根ざした活動を続けてまいります。



明るくする運動



味の素スタジアム PR

8月7日 FC東京vsガンバ大阪



推進大会とコンサート

7月16日 狛江市民ホール（エコルマホール）



多摩川いかだレース

7月21日 多摩川河川敷



中学生啓発標語優秀作品

見えてますか？ スマホの向こうの 相手の気持ち

第一中学校 三年 佐藤 七海

「大丈夫」 あなたのそばには “友” がいる

第二中学校 二年 高沢 友菜

あいさつで 感謝と笑顔 広げよう

第二中学校 一年 山本 茉凜

一歩ずつ 未来はこの手で 変えられる

第三中学校 一年 黒坂 美月

令和でも 変わらず優しさ つなげてく

第四中学校 二年 中村 美沙



第69回 社会を

駅頭PR活動

7月1日 調布市内各駅・狛江駅



中学生意見発表会

7月27日 調布市文化会館たづくり 大会議場



社会を明るくする運動
 あいさつで広がる笑顔の“和”
 周囲の力
 バス車内のマナーについて
 言葉は包丁
 生活をよくするコミュニケーション
 安心できる生活づくり
 一人の人間、一つの個性
 いじめのない明るい世の中へ
 広げよう 礼・和の心
 あいさつと安全

第四中学校	2年	篠原	稜平
神代中学校	3年	河端	大樹
調布中学校	3年	富田	結菜
晃華学園中学校	3年	大中	理紗
第八中学校	3年	成尾	威風
明治大学付属明治中学校	2年	荻野	隼之介
桐朋女子中学校	3年	鈴木	綾夏
第五中学校	3年	森合	なつ
第七中学校	3年	佐藤	南月
第六中学校	2年	山口	心結
第三中学校	2年	早川	素生

神代農場社会参加活動

六月九日 九時三〇分

地域活動部 隠田 慶孝

神代農場社会参加活動が不安定な天候の中、総勢百名を超える参加者で行なわれました。午前九時すぎ少年たちが少し不安そうな顔で受付を済ませました。

虹鱒を釣り、自分の手で生きた魚を捌く。「上手だね」の声に笑顔で反応する。竹垣作りに関しては今後体験する事も無いであろう。朝の不安や緊張も会話を通じて徐々に無くなり、積極的に笑顔で活動する姿を見て、今後の彼らの更生に向けての期待を感じました。

前日、当日と多くの皆様より御意見や激励を頂き、無事に終了できた事を感じたいします。来年も更女さんの愛情溢れるカツカレーを楽しみに感想と致します。



地域活動部 杉本 操

昨年も感じたことですが、少年たちが保護観察や虞犯の対象となっているとは思えないほど、屈託のない笑顔で私に接してくれたことに、うれしさを感じました。この活動を通じて人の心の温かさ、やさしさを感じ取ってもらい、他人を思いやることの大切さ、そして自立していくための強い意志を持ってもらえたら非常にうれしく思うと同時に、そうなることを彼らに期待したいと思います。



参加対象者の感想

特に印象に残った活動は？

○虹鱒釣り

・自分でニジマス釣って焼く所まで自分の手でやったので、とても印象に残りました。

○食事、調理

○竹垣作り

活動に参加して感じたことは？

・ボランティアをあまりやったことがなかったのですが、とても勉強になった。

また、ニジマスを釣るといって新鮮な体験をすることができました。釣りからさばくまで自分でやったので、とても面白かったです。

対象者担当保護司の感想

○社会参加活動に出席した感想

・作業が予定通りできた事は良かったと思いましたが、対象者が三名は少ないと感じました。

・BBS、学生など若手も多く活発な活動ができました。

・更女の皆様が作る昼食は大変おいしくいただきました。

○対象者の様子はいかがでしたか

・自宅を出た時は心配そうでしたが、会場に着くと同年代の対象者がいて安心した様子でした。だんだんやる気が感じられ、笑顔も多く見られ、帰りの車では疲れた様子で寝ていました。

○活動を充実させるための意見

・スマホの取扱いに注意を払う必要があります。

・対象者が少なくとも五名はいた方が良いと思います。

BBS会員の感想

○社会参加活動に出席した感想

・自然の中で普段できないような体験を色々な方々と一緒にでき楽しかったです。

○対象者の様子はいかがでしたか

・竹垣作りでは積極的に話ができました。作業も頑張っていましたので「うまくできたね」と伝えることができました。

・積極的に活動に参加し、対象者にとっても充実した時間だったと思います。

・活動の途中で参加者と写真を撮る機会がありました。事前に、撮影する際のルールを確認しておけるとよかったです。

○活動を充実させるための意見

・事前にグループ分けをして活動をした方が参加者がうまく交流できると感じました。



百合女子大学生の感想

●私は今まで、少年達と直接関わって行動をすることや、自分で釣った魚を自らの手で調理をし、食べたことがなかったため、とても貴重な経験となりました。特に魚釣りは、自分自身が初めて体験だったため、保護司の方が優しく丁寧に教えてくださいました。魚に怯えながらも、楽しく魚釣りを体験することができました。また少年達も気さくであり、私が重たい物を持っていたら「手伝います」と助けてくれました。そして、午後の活動が始まる前に何気ない会話をすることができ楽しかったです。

普段の生活では経験出来ない事なので充実した時間を過ごせました。これからはしらの形で少年達と関わることができればと思います。



●少年たちと関わりあう機会は今まで無かったため、初めはとも緊張してしまいました。しかし、初めはコミュニケーションがおぼつかなくても、マス釣りや調理、竹垣作りを通して、自然に会話が生まれれていくのはとても楽しかったです。

また、釣った魚の内臓を竹の棒で取り出して処理する行為はやったことはなく、BBSの方などに親切に教えていただき、習得をすることができました。全て包丁で済ましてしまう現代では、かなり貴重な体験になったと思います。生きた魚を手で掴み、処理を施すことには少し怖気づいてしまいましたが、命をいただく大切さを改めて認識することができました。昼食のカツカレーと野菜がとても美味しかったです。

●私は今回、社会参加活動に初めて参加しました。ニジマス釣りを焼いたり、竹垣を一から造ったり、今まで経験したことのないことばかりで、とても有意義で充実した一日となりました。活動の中で、対象者が楽しそうにニジマスを釣ったり、一生懸命竹串を削ったり、杭を打つたりする姿が印象的でした。

多くの人との交流を通して、人の暖かさに触れ、また他人と協力し何かを作り上げることの楽しさを味わうことができ、このような活動の大切さや意義を学びました。

丁寧な活動のご指導をしてくださり、美味しいごはんも作っていただき感謝いたします。

この度は貴重な活動に参加させて頂きありがとうございます。



●今回はこのような活動に参加させていただき、ありがとうございました。

普段の生活ではできないニジマス釣りや竹垣づくりを体験し、とても貴重な経験になりました。そしてこのような体験をする中で、子どもたちが純粋に楽しむ姿を見ることができ、私自身も子どもたちと一緒に楽しく活動に参加することができました。今回の活動で体験したこと、人との関わりから感じたことをこれからの学びに生かしていけるように頑張っていきたいと思っております。

ありがとうございます。

●私は社会参加活動に参加したことがなかったので、どんなものなのかあまり想像が付きませんでした。実際に参加してみても、対象者が社会参加するきっかけになる活動なのだと感じました。BBSの方と楽しそうに活動している姿を見て、自分の行動が認められるような経験をすることが更生につながるのだろうと考えました。

ゼミではじめてBBSの存在を知り、興味を持っていました。今回の活動で実際にBBSの方が少年たちと関わっている姿を見て、少年たちの気持ちを理解し、関わっている様子がとても印象的でした。

●初めてマス釣りなどを体験して、とても楽しく感じました。

少年たちといつも私たちとあまり年が離れていないので、とても楽しく協力して活動出来たと感じます。

ボランティアに参加させて頂いて、多くの方のサポートの中、活動出来たということを実感しました。今回の活動を通して学んだことを、保育現場でも共通することが多くあったので将来活かしていきたいと思えます。そして授業でも学びを深めて行きたいと感じます。



春の叙勲



瑞宝双光章
瀧柳 嘉市

ご受章おめでとうございます

新任保護司のご紹介

令和元年九月十七日委嘱



調布分区
元木 克幸

保護司会の今後の予定

十月十七日

地域別定例研修第II期

十月二十一日 第七ブロック

保護司組織運営連絡協議会

十一月一日 地区管外研修

十一月二十四日 中学生サッカー教室

十一月二十八日

更生保護事業関係者顕彰式典

十二月一日 調布市福祉バザー

十二月八日 深大寺社会参加活動

一月十七日 新年会

一月二十九日

多摩連保護司全体研修

月 日 調布分区自主研修
二月十二日

地域別定例研修第III期

総 会 報 告

狛江分区総会

日時 四月八日 午後三時

場所 狛江市役所 四階特別会議室

調布分区総会

日時 四月十二日 午後三時

場所 調布郵便局 会議室

調布・狛江地区総会

日時 四月十九日 午後三時

会場 グリーンホール 小ホール



味スタPR活動

七月七日、FC東京が中学生五〇〇組、一〇〇〇人をFC東京対ガンバ大阪の試合に招待して下さいました。試合開始前には、これに参加した中学生、保護司が社明の広報活動を行い、またハーフタイムには中学生五名と保護司、保護観察所職員などによって横断幕を持つてグラウンドを一周し、観客に社明運動をアピールしました。試合はFC東京が三対一で勝利しました。



退 任

令和元年 五月十四日 退任

川合 章雄 (狛江分区)

永年にわたるご活躍
ありがとうございました

あとがき

酒井 淳

海山の豊かな恵みがもたらされる秋、食欲の秋ともいわれます。哲学者長谷正富さんは著述で、体が食物により栄養を取り入れているように、心にも栄養が必要だ。心の栄養は、美しい自然の中に身を置く、美術作品を観る、人からの尊敬、愛情などからもたらされる。人は食事を忘れて何かに夢中になることもあるが、それを続けるといずれ倒れてしまう。私たちは身を守るために心を閉ざすこともあるが、それを続けていくと心に潤いがなくなり、いずれ壊れていくと書いておられました。心にゆとりを持ち、人と人が敬愛し支え合うことが、潤いのある豊かな社会を形成する源となることを改めて感じます。



広報(編集)部員

部長	柿澤正夫	伊藤知弘
副部長	鈴木宗貴	鈴木久美子
副部長	三角武久	林田堯瞬
書記	栗山 剛	愛甲悦子
書記	田中久和	
会計	井上喜一	
会計	酒井 淳	